

1 共同研究講座詳細

講座名称	シャボン玉石けん共同研究講座	
講座内容	石けんの化学・生物・物理的特性を明らかにし、石けんを新たな分野に応用する基盤技術を開発する。	
設置期間	2021年4月1日～2026年3月31日	
組織	【研究代表者】 研究担当者	秋葉 勇（エネルギー循環化学科教授）
	【共同研究代表者】 特任教員	川原 貴佳（シャボン玉石けん(株)取締役研究開発本部本部長兼品質本部本部長）
	研究分担者	上江洲 一也（環境生命工学科教授）
	研究分担者	中澤 浩二（環境生命工学科教授）
	客員研究員	益永 章裕（シャボン玉石けん(株)研究開発本部）
設置先	北九州市立大学国際環境工学部	

2 共同研究講座制度概要

(1) 目的

企業等の資金・人材を受け入れ、共同研究の組織を構築して学内に拠点を設置することにより、①企業等のニーズに応え、②優れた成果を創出する研究環境を構築し、③大型の外部資金を獲得し、④大学の教育研究の発展に貢献することを目指す。

(2) 共同研究と共同研究講座との違い

	共同研究	共同研究講座
名称	研究テーマ名のみ	講座名を設定 (研究室や企業名を冠にした名称)
研究組織	企業の研究者と大学の研究者はそれぞれの組織内で研究	企業の研究者と大学の研究者で学内に <u>研究組織を構成</u> し、協働して運営
研究施設	企業の研究者は企業で、大学の研究者は大学で研究	<u>学内に拠点を設置</u> し、企業の研究者が滞在して大学の研究者と協働して研究

(3) 共同研究講座のメリット

①大学側

- ・大型の外部資金を獲得
- ・間接経費の増加
- ・企業視点により、人材育成や教育の幅が拡大

②企業側

- ・事業戦略に基づいた研究をフレキシブルに推進
- ・大学の施設や設備を利用可
- ・企業と大学の人材交流が深まり、人材育成及び企業 PR に有効となり、優秀な学生を確保